

## 看護が伝わる講義を目指して

岡村 光子

久留米大学医学部看護学科 助教

臨床の場で中堅となっていた私は、新人教育や学生指導に携わっていたこともあり、自分の環境を臨床から基礎教育の場へ変化させることに戸惑いはなかった。しかし、実際に教育の場へ足を踏み入れると、臨床の看護教育と看護基礎教育との違いを理解していないことが分かった。教員となり、まず、最初の1年間は、領域の先生方の様々な講義を聴講し、講義の組み立て方や方法をご教示頂いた。

現在は、学科内で年2回行われるFDワークショップ・セミナーで他大学の先生方の講演を聴き、最新の教育や研究に関わる知識を学ばせて頂いている。また、臨地実習で学生指導を担当することで、「看護」の初学者の特徴や特性を掴むことができ、看護基礎教育について少しずつ理解を深めている最中である。

医療の進歩、少子高齢化に伴う改革といった社会の変

化から、看護を取り巻く環境や役割も常に変化し、看護者の活動の場が多様化している。そのため、看護基礎教育では、これらの変化の中でも様々な場面で人々の状態を的確に捉え判断していく思考力、状況に応じた実践力、チーム医療や多職種連携に必要な社会人基礎力を育み、臨床の場に出る時に質の高い看護の提供ができる看護師を育てることが重要であると考える。

看護の基礎を教えるということは、教員も医療や社会の変遷を踏まえ、常に最新の知識やデータをアップデートして講義に臨むことが求められるため、自分自身が学び続けることの大切さを痛感している。

私が担当している講義は、新生児に対する「看護」の単元であり、学生が臨地実習を行う上で前提となる必須科目に含まれる。新生児に対する「看護」の実践場面を教えていくにあたり、講義によって対象者の身体的、心理・社会的特性を理解した上で、対象者を観察し、その状態や状況を捉え、どのように看護ケアするのかを思考できるように伝えることが大切である。さらに、講義で学んだことを実際に臨地実習で役立て、看護実践できるように講義内容であることも求められている。そのため、私の講義の評価

は、臨地実習での学生の様子からも判断できる。私の講義が効果的ではなかったのではないかと思われる状況を目の当たりにすることも度々である。特に、ここ数年のコロナ禍でオンデマンドでの講義だった際は、講義資料にひたすら情報を詰め込むだけであった。そのために、対象者の「看護」を学生に十分伝えることができていなかったと反省している。

対象者を観察し、その状態や状況を捉え、どのように看護ケアするのか思考していく。その方法を効果的に伝えるには、学生と双方向のやり取りを通じ、目や耳を通して、「看護」を理解していけるように講義する。それができると学生も興味を持ち、理解が深まり、知識として定着すると思われる。そのための工夫の一つとして、模型人形を用いて実際に実習で行う看護ケアを、教材提示装置で提示している。しかし、まだ経験の浅い私は、講義の中で学生とやり取りしながら進めるということが十分でなく、一方向の講義となってしまう。さらに学生に興味を持ってもらうため、臨床看護の実際を交えながら講義ができるようになることが、私の今後の課題だと考えている。

2021年度、日本私立大学連盟で開催されているFD推進ワークショップ(新任教員向け)に参加し、オンライン模擬授業に取り組む機会を頂いた。その中で、まず「バイタルサインとは」「なぜバイタルサインを観るのか、どのように観察していくのか」を講義し、測定する順序や方法などを説明した。また、脈拍の話では、自身の身体で実際に脈拍を確認してもらい、心拍リズムの音にはメトロノームを使用し、耳で聴いて理解してもらった。バイタルサインの重要性を学んでもらうため、同じグループの方々と同ラインでやり取りしながら、目で見ても耳で聴くということを取り入れる模擬授業を行うことができた。そのように振り返っている。この経験は、これからの講義に生かせるだけでなく、自信を持つことにも繋がった。

「看護」において、講義で学んだ知識は実習で実践するという経験を経て統合され、定着に繋がる。講義の中で、目で見ても耳で聴くという体験が、対象者を想像して理解することにつながり、記憶に刻まれ、実習での実践に繋がっていく。それを念頭に、今日も試行錯誤を繰り返して、授業の準備に励む。

順天堂大学医療科学部 ・ 長岡功「医療科学部学部長」

# 臨床検査と臨床工学の次世代のリーダーを育成する

## 1 新学部設置の背景

学校法人順天堂は健康総合大学・大学院大学として、天保9（1838）年、学祖の佐藤泰然が江戸の薬研堀に西洋医学塾を開塾してから本年度で184年を迎える。2022年4月、医学部・スポーツ健康科学部・医療看護学部・保健看護学部・国際教養学部・保健医療学部が続く第7番目の学部として「医療科学部」が誕生した。

「医療科学部」は、臨床検査技師を育成する「臨床検査学科」と、臨床工学技士を育成する「臨床工学科」の2学科から成り、入学定員はそれぞれ110名と70名で

ある。4年後の完成年度には2学科合計で720名の学生数になる。

新型コロナウイルス感染症の収束を目指す現在の医療現場で、そして最先端技術を駆使した将来の医療現場で、検査・分析のスペシャリストとして確かな診断に導く「臨床検査技師」、医療機器のスペシャリストとしてのちを守る「臨床工学技士」がますます必要とされ、その活躍が期待されている。医療科学部では学是「仁」の心（人存りて我存り、他を思いやり、慈しむ心）をもち、グローバル時代に対応できる国際性を身につけた次世代の「臨床検査技師」、「臨床工学技士」を育てることを目指す。



## 2 「医療科学部」の6つの特色

### 1. 国際性を有する次世代のリーダーを育成

新学部では、グローバルな時代に対応するために、充実



2022年3月に竣工した浦安・日の出キャンパス1号館(医療科学部)

した外国語教育等により、どのような時代にも活躍することができる、国際性を身につけた次世代のリーダーを育てることを目標としている。

### 2. 最先端の医療教育が可能

順天堂大学は、6つの附属病院(総病床数3589床)を有し、日本最大規模を誇る。各附属病院は、先進医療、地域医療、救急医療、周産期医療、高齢者医療、精神医療、がん治療など、医療ニーズに幅広く対応する高い専門性と総合力に秀でている。新学部での講義や実習には、順天堂大学が蓄積してきた豊富な臨床・研究成果が活用されるため、最先端の知識を学ぶとともに、医療現場での実践的な経験を得ることがができる。

### 3. 大学附属病院を中心に行う臨地実習及び臨床実習

臨地実習及び臨床実習は、医学部附属病院、医学部関連病院や本学卒業生が運営する病院・施設を中心に行い、講義と実習との一貫性を図る。特に、医学部附属浦安病院は、新学部と同じ浦安市内に位置しているため、緊密な連携によって、より専門的な知識・技術の習得が可能である。

#### 4. 臨床・研究に強い教授陣に学ぶ

本学医学部と医学部附属病院のバックアップにより、臨床経験が豊富で研究実績のある教授陣から専門的知識と医療技術を学ぶ。

#### 5. 開学以来の医療職者養成の経験と実績

開学以来、順天堂大学には永年にわたり蓄積してきた医療職者養成の経験と実績がある。医学部や他の医療系学部と互いに連携して教育を行う。

#### 6. 国際性を高める教育環境

充実した外国語教育、海外研修等により、世界に羽ばたくことができる人材を育成する。

### 3 カリキュラム

#### 臨床検査学科

1. 基礎分野教育では語学と情報科学を重視するとともに、アクティブラーニングを主体とするキャリアデザインゼミナールを配してチーム医療に必要なコミュニケーション力を醸成し、将来の医療専門職像の早期把握を図る。

2. 医学・医療の基本的な知識を学ぶ専門基礎分野及び

専門臨床分野教育は、臨床検査技師、医師の資格を有

する経験豊かな本学科専任教員に加え、本学医学部等の教員が学部横断的に担当し、教育の質の確保を図る。

3. 各専門分野において講義、演習、実習を体系的に配置し、さらに学内実習の充実により医療の現場（臨床検査）で役立つ専門知識と技術の修得を図る。

4. 3年次には本学附属病院を中心とした臨地実習により、医療機関における臨床検査の実際を学修し、医療チームの一員としての自覚を養い、接遇マナーを修得する。

5. 4年次には「総合研究」を配置、ゼミナール形式の「臨床検査総合演習」では学修した技術・知識の確実な理解を図る。また、併せて「先進臨床検査学」等で臨床検査の国際化や臨床研究の基本を学修する。

#### 臨床工学科

1. 基礎分野教育では語学と情報科学を重視するとともに、アクティブラーニングを主体とするキャリアデザインゼミナールを配してチーム医療に必要なコミュニケーション力を醸成し、将来の医療専門職像の早期把握を図る。

2. 医学・医療の基本的な知識を学ぶ専門基礎分野及び専門臨床分野教育は、臨床工学技士、医師の資格及び関連分野の博士号を有する教員が担当し、教育の質の確保を図る。

3. 理論と実践の学びを統合して理解できるように講義、演習や実習を関連付けて専門的知識と技術の修得を図る。

4. 3年次と4年次の「臨床工学総合演習」により、事例研究や課題研究を通して今までの学修のまとめを行うとともに、医療専門職者としての将来像を具体的に自覚させる。

5. 臨床工学の集大成として、3年次後期と4年次前期に「卒業研究」を必修科目として配置し、卒業論文をまとめることにより、研究の流れ、成果の解釈、研究発表方法について理解し、主体性をもって将来的に研究を遂行できる能力を育成する。

#### 4 卒業後の進路・将来への展望

本学部を卒業した学生の進路としては、以下のように

想定している。

#### 臨床検査学科

病院・診療所等の医療施設

健診センター、臨床検査センター

医療機器関連企業・機関、製薬関連企業

国内外の教育研究機関、国内外の大学院進学等

#### 臨床工学科

病院等の医療施設

医療機器関連企業・機関

国内外の教育研究機関、国内外の大学院進学等

医療科学部が開設される「浦安・日の出キャンパス」には、広々とした敷地に、新校舎のほか、体育館やテニスコート等も整備されている。また、都心からアクセスもよく、充実したキャンパスライフが過ごせる環境が整っている。そして、そこで、前述の6つの特色をもった教育が行われる。順天堂大学医療科学部は、学是「仁」の心をもち、豊かな人間性と専門的知識・実践力を兼ね備えた、国際的に活躍できる次世代の「臨床検査技師」、「臨床工学技士」を確実に輩出していく。